

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 12日

事業所名 olive やまうち

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5名	1名	0名	国の設置基準に基づき(児童一人当たり2.47㎡以上)を満たしており、活動によってスペースを分けて行っています。	利用定員の管理徹底に努める。
	2	職員の配置数は適切である	4名	2名	0名	児童指導員・保育士を常に2名以上配置しています。	適切配置人数を守る。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2名	2名	2名	段差の認識力・身体能力も合わせ持っているため現状維持。	建物が賃貸であるため、可能範囲で対応する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4名	2名	0名	担当制のローテーションを行い、広く職員が業務内容が把握できる様にしている。	面談や会議を持ち改善に努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2名	4名	0名	意見を頂いた内容を検討し、保護者へ説明を実施し改善に努めています。	継続し改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4名	2名	0名	ホームページで公開しています。	ホームページの周知を図る。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1名	3名	2名	第三者に相談やアドバイスを頂いています。	第三者との繋がりを継続していけるようにする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5名	1名	0名	zoom普及に伴い研修参加率が上がっています。	研修案内の周知・事例検討に繋がられる様にする。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5名	1名	0名	モニタリング等を実施し、個別支援計画の更新を行っています。	ニーズと課題整理を行い、個別支援計画作成に努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2名	4名	0名	所内の書式を使用し、保護者等からの聞き取り、診断書等を基にアセスメントしている。	今後も丁寧なアセスメントに努める。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6名	0名	0名	プログラムはチームで行い、細かな計画は担当制で行いチームで検討しています。	継続して取り組めるように努める。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6名	0名	0名	平日、季節行事や休日、固定化にならない様に計画しています。	チームで実態に合わせたプログラムを計画していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3名	3名	0名	平日、季節行事や休日、長期休暇に合わせて計画しています。	課題設定し支援に努める。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3名	3名	0名	状況に合わせて個別を設定し、集団活動を主として作成しています。	今後も職員間で会議検討、支援計画を見直していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1名	4名	1名	担当者が各々で行う日もあり、改善が必要。	朝礼で毎日確認を実施出来る様に体制を整える。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1名	5名	0名	送迎時間の兼ね合いで実施が難しく、振り返り共有が出来ない体制整備を行います。	体制整備していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2名	4名	0名	日々の記録に努めています。	記録を元に検証・改善に繋げるよう努める。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6名	0名	0名	定期モニタリング、評価を実施し個別支援計画の更新を行っています。	継続して取り組めるように努める。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3名	3名	0名	自立支援・創作・余暇の提供を中心に組み合わせ支援しています。	継続して取り組めるように努める。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5名	1名	0名	管理者と指導員等、ペア参 加が出来る様にしている。	継続して取り組めるように努め る。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	3名	3名	0名	管理者を中心とし、日々の 申し送りは職員も行える様 に児童の情報共有を定期 に行っている。	継続して取り組めるように努め る。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0名	2名	4名	重症心身障がい児以外を 受け入れる事業所として登 録しています。	該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4名	2名	0名	姉妹店舗oliveからの移行 支援あり情報の共有に努 めています。	子の状況により、対応して取り組 める様に努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	0名	3名	3名	該当児童なし。	現在、移行支援を計画している 児童は在籍していない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3名	3名	0名	外部機関と連携し、研修や 助言を受け改善に繋げら れるようにしています。	継続して取り組めるように努め る。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	0名	1名	5名	公立小学校と支援学校在籍 の児童と一緒に過ごしている 事業所となっています。	児童館などとの交流方法など検 討事項としていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	0名	2名	4名	今年度は案内がない状 況。	案内があれば参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4名	2名	0名	送迎時やモニタリングな ど、状況を伝え課題整理し 児童理解に努めています。	継続して取り組めるように努め る。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3名	3名	0名	送迎時や電話相談、モニタリング 等、機会をみつけ、言葉掛けや距 離の取り方など、伝えています。	ペアトレに限らず、保護者との相 談体制(電話・対面等)を整える。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6名	0名	0名	契約時に説明を実施してい ます。	契約時に説明し不明な点の相談 を受けたら都度説明対応を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6名	0名	0名	対面、電話相談、モニタリング等、 機会をみつけ、子どもの状況と合 わせ助言を行っています。	継続して対応に努める。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	4名	2名	0名	感染対策、広い施設で開 催する事ができた。	計画し実施していける様に努め る。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6名	0名	0名	対応の体制整備をし、対応 に努めている。	意見などの周知方法を検討してい く。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6名	0名	0名	利用カレンダーで活動や行 事等の連絡を行っていま す。	お知らせの媒体(紙・SNS・HP等) 活用していく。
	35	個人情報に十分注意している	6名	0名	0名	個人情報が記載された書類は管 理者の管理のもと厳重に保管を 行っています。	今後も注意し取り扱っていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5名	1名	0名	言葉・写真・実物などを活 用しています。	今後も継続していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に関わった事業運営を図っている	0名	3名	3名	インターシップ(学生)を受 け入れを行っています。	興味・理解を頂ける地域の方との 交流から努めていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0名	6名	0名	新たなマニュアルの整備を行っている。	マニュアルの整備、閲覧が出来る様に所内設置していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5名	1名	0名	避難ルート・バックの確認を行っている。	定期実施に努める。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5名	1名	0名	所内研修・ケース検討を行っています。	今後も継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2名	3名	1名	身体拘束の適正化運営基準の整備を進行している。該当児童はいません。	身体拘束の適正化についての認識を再度確認、周知を図っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0名	3名	3名	対象となる食べ物の提供を行っていない。	管理が必要な児童に関し、持参を依頼していく対応で統一している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6名	0名	0名	研修で共有する機会を設定している。	継続出来る様に努める。